

附 属 機 関 等 の 会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回座間市公営企業運営審議会		
開催日時	令和7年12月9日（火） 13時30分～14時20分		
開催場所	座間市上下水道局庁舎 4階 会議室		
出席者	茂庭竹生委員、角田厚子委員、湯浅一弘委員、内藤和美委員、窪博之委員、西村佳裕委員、飯島茂委員、西村弘委員、大谷勝也委員		
事務局	上下水道局長 上下水道局経営総務課 経営総務課長、副主幹兼経営係長 上下水道局水道施設課 参事兼水道施設課長 上下水道局下水道施設課 下水道施設課長		
会議の公開可否	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開	傍聴者数	0 人
非公開又は一部公開とした理由			
議題	・ 令和6年度座間市水道事業会計の決算報告について ・ 令和6年度座間市公共下水道事業会計の決算報告について ・ 令和7年度重点事業について ・ 水道事業及び公共下水道事業における経営戦略の策定について		
資料の名称	【当日配布資料】 ・ 会議次第 ・ 令和6年度座間市水道事業会計決算書 ・ 令和6年度座間市公共下水道事業会計決算書 ・ 令和6年度上下水道事業会計収支グラフ ・ 令和7年度水道事業会計・下水道重点事業 ・ 座間市水道事業経営戦略2035 概要版（案） ・ 座間市公共下水道事業経営戦略2035 概要版（案） ・ 座間市公営企業概要		

会議の結果	
	説明について特に疑義なく、広く意見交換を行った。
議事の概要（又は詳細）	
	（１）令和6年度座間市水道事業会計の決算報告 令和6年度座間市水道事業会計の決算報告について、事務局から説明がありました。 【委員からの意見・質疑と回答】 質疑及び意見無し （２）令和6年度座間市公共下水道事業会計の決算報告 令和6年度座間市公共下水道事業会計の決算報告について、事務局から説明がありました。 【委員からの意見・質疑と回答】 質疑及び意見無し （３）令和7年度重点事業 令和7年度重点事業について、事務局から説明がありました。 【委員からの意見・質疑と回答】 【委員】 PFOS、PFOAについて、来年度から水質基準に引き上げられるとのことだが今より厳しくなるのか。 【事務局】 今は水質管理目標設定項目で水質基準より１段階下のところですが、令和8年4月から水質基準になります。数値は１ℓあたり50ng/Lで変わりありません。 【委員】 水質基準に引き上げられることで何か影響は出るか。 【事務局】 水質管理目標設定項目になった時点で同じ50ng/Lを下回る運用をしておりましたので、現状と変わらない水運用となる予定です。

【委員】

市内の約350kmある水道管の老朽化対策について、1年間の更新目標が3.5kmとのことで単純計算すると100年かかるが、更新時期までに現行の管路が破損する可能性はあるのか。また、更新後の管路の耐久年数はいかほどか。

【事務局】

国交省では、新たに布設している管は今のところ40年と言われております。ただ、メーカーでは100年とも言われておりますので、今後その点がはっきりしますと計画的なところがもう少し出せると思います。

【委員】

令和6年度に水道事業に必要な水質基準及び水質管理目標設定項目を順守することが可能な浄水方式、概算事業費を総合的に検討したとのことだが、PFOS、PFOAの対応も含め、例えば活性炭等を使うということか。

【事務局】

令和8年度から水質基準が50ng/Lになるため、水質基準逐次改正検討会が去年の12月末に発表していますが、希釈の浄水方式で50ng/Lを守れるという検討結果が出ましたので、活性炭の施設を使うことなく、県水で希釈し水運用ができるという結論が出ております。

【委員】

今、水道水に占める県水の含有率は15%ぐらいか。

【事務局】

25%が県水です。

【委員】

それを増やす考えはあるか。

【事務局】

今現在の運用ではほぼ25ng /L程度ですので、ほぼ今の形で運用できる予定です。

【委員】

短期的ではなく、今後10年くらいを想定してはどうか。

【事務局】

水質検査の結果、PFOS、PFOAが上がれば県水が増えていきますが、今の状況では、PFOS、PFOAは下がっておりますので、今後増えることはないだろうと推測しております。

【委員】

県水のPFOS、PFOAの値の状況はどうか。

【事務局】

県水は多くて1ng /Lぐらいです。また、浄水場を持っております。

【委員】

神奈川県は7割位は県水で、県水は1ng /Lぐらいの低い水準にある。座間市は25ng /L位のレベルにある中で、その値自体が健康に及ぼす影響というのは多分少ないだろうと個人的に思うが、他市がほとんど入っていないのに座間の水に少しでも入っているということが気になる。将来的にはできればPFOS、PFOAが含まれていない水を飲みたいという気持ちがあり、地下水が本当に大丈夫かと思っているが、このような状況が続くことについての考えはどうか。

【事務局】

PFOS、PFOAが含まれていない水を飲みたいという気持ちは十分に理解できます。水質基準は51項目あり、他の物質も含め国の基準は、それ以下だと影響がないということを言われておりますので、国が示す水質基準を守り、今後も国の動きを注視して行きたいと思っております。

【委員】

参考までに伺うが、座間市と同じ地下水を汲み上げている秦野市にその問題はあるか。

【事務局】

秦野市さんも多少あるとは思いますが、それほどとは聞いておりません。

【委員】

県水を入れると費用面で上がるか。

【事務局】

お見込みのとおりです。

【委員】

それでは、一通り質疑が終わったようですので、本件についてはこれで終了したいと思います。

（４）水道事業及び公共下水道事業における経営戦略の策定

水道事業及び公共下水道事業における経営戦略の策定について、事務局から説明がありました。

【委員からの意見・質疑と回答】

【委員】

経営方針の中の3番目の持続可能な水道の人材育成と組織力の向上、財政マネジメントの向上、お客様サービスの充実について、現時点での課題と対策は何か。

【事務局】

水道の人材育成と組織力の向上は、主に技術者が不足している状況にあって、適切な技術継承を図っていくことを考えております。

財政マネジメントの向上は、今後10年間の財政収支の見通しを立て、安定的に事業の継続を図ることを考えております。

お客様サービスの充実は、DXを推進し、更なるお客様サービスの充実を図ることを考えております。

【委員】

11月14日付けの読売新聞で、上下水道の広域化をした団体には老朽化対策等が国の補助金対象になるとの報道があったが、座間市としては今後も単独でやるのか。

【事務局】

国の補助金に色々と動きがありますので、現在は国の方向性等を含め情報収集をしている段階でございます。

【委員】

災害対応について、水道管等の被害状況などの想定はあるか。また、水の備蓄の担当部署はどこか。

【事務局】

地域防災計画により対応します。水の備蓄は危機管理課が担当部署です。

【委員】

水道は被害想定がしにくい。水道管は地盤の条件とか関係するため、耐震管で重要な管路をできるだけ早く置き換えることや周辺の市町村、あるいは県も含めて緊急時に応援体制を構築することが重要で、能登の例はほとんど座間には参考にならない。能登は管路が古く、水利条件が悪くて能登半島自体に水源がないため、南の方から長い送水管で送っており、水源が市内にある座間とは比較にならない。座間は地下水が主な水源なので電気さえ通ればある意味回復は早い。

【委員】

それでは、一通り質疑が終わったようですので、本件についてはこれで終了したいと思います。